

四 松田^{まつだ}さんは、国語の授業で班^{ばん}ごとに行った意識調査の内容を、クラスの皆の

前で伝えることになった。次の文章は、松田さんが用意している原稿である。次の文章と資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちの班では、メディアに関するいくつかの意識調査を行いました。調査結果から多くのことがわかってきました。その中で、私たちの班が感じたことや考えたことを発表します。

まずは、「一週間でメディアと関わる機会があるか」という質問に対して、全員が毎日関わっていることがわかりました。テレビやパソコンをはじめ、メディアとの関わりは私たちの生活に欠かせないものとなっているように思いました。

次に、「何を利用してメディアと関わっているか」という質問に対して、パソコンやタブレット、スマートフォンといったモバイル機器の利用が八割を超え、次にテレビ、新聞と続き、ラジオと答えた人は一割に達しませんでした。私たちの班が別で調べた総務省の「主な機器によるインターネット平均利用時間」の結果によると、モバイル機器によるインターネット利用時間が十代、二十代で最も多いことから、この調査の結果はうなずけるものでした。

この調査結果を受けて、メディアが私たちに身近な存在であることがわかりました。しかし、最近ではモバイル機器の利用時間による健康被害が問題になっていることは、先日の保健の授業で先生から教^{おし}えられたばかりです。また、メディアが発信する情報の信頼性もよく考えないといけない問題だと思^{おも}います。みなさんも、メディアと上手に付き合うには、どう接していくべきか、今一度考えてみてほしいと思います。

資料

内容	インターネット	テレビ	新聞
情報量	一番多い	多いに限られている	多い
伝達 [（] 速さの	一番速い	速い	遅い
手軽さ	時間と場所の制限がない	時間の制限がない	少々場所の制限がある
伝え方	画像と文字と音声すべてあり	音声と画像が中心	画像はあるが、文字が中心
信頼性	情報源が不明確ですべて信頼できるとは言い難い	信頼性はある	細心の裏付けがあり、一番信頼性がある

問一 「教えてもらった」を、敬語を使った表現に直しなさい。

問二 松田さんは、同じ班の相川さんあいかわからより説得力のある発表をするためにフリック（説明のために用いる、表・図・グラフなどを書いた大型のカード）を用意した方がよいとアドバイスを受けた。どのようなフリックが説得力が増すか、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア メディアとは何かを示したフリック
- イ 一日のメディア接触時間を示したフリック
- ウ 総務省の調査結果を示したフリック
- エ 上手なメディアとの付き合い方を示したフリック

問三 松田さんは、クラスの前で調査結果を伝えるために、どのようなことをこころがけて話せばよいか、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 話す速度や抑揚よきように変化を付けず、一語一語丁寧に話す。
- イ 原稿から目を離さず、身振り手振りをつけて話す。
- ウ 調査結果を適切に伝えるために、すべての数値を話す。
- エ 聞き手の反応を見ながら、伝えたい要点を的確に話す。

問四 担任の先生から「メディアのそれぞれの特徴についてもう少し調べると、メディアとの上手な付き合い方について考えやすくなりますよ。」という話を聞いた松田さんは、メディアごとの特徴を内容ごとに資料としてまとめた。この資料から、あなたの注目した内容と、それに対するあなたの考えを次の〈条件〉に従って書きなさい。

〈条件〉

- ① 一マス目から書き始め、段落を設けないこと。
- ② 最初に資料から注目した内容を書き、次にそれに対するあなたの考えを書くこと。
- ③ 一五〇字以上一八〇字以内で書くこと。